

J A 岩井半期開示ディスクロージャー

令和5年上半期

1. 金融再生法開示債権(単体)

(単位:百万円)

債権区分	令和5年7月末	令和5年1月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	5	7	▲ 2
危険債権	1	1	0
要管理債権	0	0	0
正常債権	9,965	10,146	▲ 181
合計	9,972	10,155	▲ 183

注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しております。よって合計額等が一致しない場合があります。

2. 単体自己資本比率(新BIS基準適用)

令和5年7月末	令和5年1月末
19.11%	19.00%

注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

3. 主要勘定の状況

(単位:百万円)

	令和5年7月末	令和5年1月末	令和4年7月末
貯金	70,888	70,126	69,967
貸出金	9,967	10,150	10,344
預金	54,283	52,834	53,685
有価証券	5,983	5,867	5,884

注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

4. 有価証券等時価情報

(単位:百万円)

種類	令和5年7月末			令和5年1月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
満期保有目的	0	0	0	0	0	0
その他	6,577	6,121	▲ 455	6,377	5,867	▲ 510
合計	6,577	6,121	▲ 455	6,377	5,867	▲ 510

注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しております。よって合計額等が一致しない場合があります。

- 7月末の有価証券の時価は7月末日における市場価格に基づく時価としています。
- 取得価格は償却原価法適用前、減損処理前のものです。

5 地域貢献活動

地域貢献活動

持続可能で安心して暮らせる豊かな地域社会の確立を目指します

① 地域貢献の全般に関する事項

当組合は、組合員・利用者・地域のみなさまにご満足いただけるようきめ細かなサービスを提供し、持続可能で安心して暮らせる豊かな地域社会の確立に向けた事業を展開して参ります。

地域に貢献するくらしの活動の一環として、「農業・食への理解を深める」「地域との絆づくりを行う」「生活に関する不安や悩みを解決する」「仲間づくりを支援する」「高齢化社会に対応した健康の増進を図る」「こころ豊かな生活の実現を目指す」など多彩な運動を展開いたします。

また、顧問税理士による無料の税務相談窓口の開設や、大規模自然災害等の非常事態発生時の地域防災の拠点としての責務を果たし、組合員の皆さま・地域社会の皆様のお役に立てるよう努力いたします。

② 地域からの資金調達の状況

地域のみなさまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、JAらしさを意識した商品、安全・安心な金融サービスの提供に努めております。

当JAにて公的年金お受け取りの方を対象とした年金定期貯金や年金定期積立貯金、農業生産者を対象とした販売代金専用定期貯金、JAに新たにお預けいただくニューマネー定期貯金など、利用者にあわせた各種貯金の取り扱いにより、好評をいただいております。

③ 地域への資金供給の状況

農業をはじめとした地域経済の活性化に役立てるため、円滑な資金供給を行うことで地域社会に還元しております。農業者の経営ビジョン達成に向けた農業資金や、地域のみなさまの「夢」を実現するための資金として住宅ローンやマイカーローンなどの商品を提供しております。

また、ウクライナ紛争による原油・資材の供給不安からくる生産資材・肥料価格の高騰対策として資金繰りのご相談などに対応しております。

④ 文化的・社会的貢献に関する事項

JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域社会の一員であり地域の協同組合として各種行事や催し物への参画、更には1支店1事業活動をはじめるとするコミュニティふれあい活動や助け合い活動を通じて社会貢献

に努めております。

具体的には、フードバンク茨城「子ども応援プロジェクト」「県内ひとり暮らし大学生食の支援」やひとり親家庭や就学援助を受けている小中学生のいる世帯などへ、社会福祉協議会や茨城県中央会を通じて食の提供を行いました。

◇環境にやさしい農業の実践と安全な農産物づくり

坂東市農業用プラスチック適正処理推進協議会の活動として、年2回、使用済み農業用ビニール、ポリオレフィンなどの産業廃棄物の適正処理を行い、持続可能でよりよい世界を目指す国際的な開発目標（SDGs）への取組みを進めています。

消費者に対しましては、「安全・安心・新鮮」な農産物志向に corres 応するため、栽培管理台帳記帳運動を進め、生産履歴の明確化を図っています。

また、農政運動の一環として、国民の主食である米の消費拡大・耕作放棄地の有効活用を目的に、ガールスカウトによる田植え・稲刈り体験を拡大しながら実施しています。

◇高齢者の健康サポートと福祉活動

年金受給者の活動の場となるようJA岩井年金友の会を組織し、グラウンドゴルフ大会やボウリング大会、親睦旅行、趣味の活動等を通して地域のみなさまの健康増進と生きがいある生活を目指した組織活動の充実に努めております。

本年度は、グラウンドゴルフ大会やボウリング大会を再開し、会員同士の親睦と交流を深めることができました。

また、高齢化社会に対応する事業として、食材宅配事業や介護支援専門員による介護相談やケアプランの作成も行っております。

◇次世代への「食農教育」の支援

坂東市教育委員会を通じ、管内の小学校9校へ補助教材「農業とわたしたちのくらし」を寄贈し、児童たちが食糧生産に携わる農家の仕事や坂東市の野菜づくりを学びました。

また、市内の児童たちがJA各店舗や予冷センター見学に訪れ、野菜づくりや野菜・米の集出荷の状況を学び、坂東市の基幹産業の一つとして重要な位置を占める農業に対してより一層の理解を深めました。

農業体験を通じた活動では、農業後継者組織の青年部や食育研究会が中心となり市内の小中学校で野菜づくり体験を開催し、地域農業と食の大切さを伝えていきます。本年度は、長須小学校、七重小学校5年生を対象にレタスの定植体験やトウモロコシの定植・収穫体験を実施しました。